

まい 埋やちよ

No.31

千葉県八千代市
埋蔵文化財通信
2015. 5. 28
(平成 27 年)

平成 26 年度を振り返って

本号では、平成 26 年度の事業内容についてご報告します。また、平成 27 年度に予定されている展示会などについてご案内します。

発掘調査事業

発掘調査は、19 遺跡 22 地点の確認調査と 3 遺跡の本調査を行いました。個々の調査概要は次頁の表を参照してください。

整理事業

平成 13・19・22・23 年度に、市の公共事業（歩道建設、道路用地管理、消防署建設）に先行して実施した向山（むこうやま）遺跡 c 地点・同 f 地点・ライノ作遺跡 b 地点・小板橋（こいたばし）遺跡 e 地点・阿蘇中学校東側（あそちゅうがっこうひがしがわ）遺跡 c 地点の本整理を行い、発掘調査報告書を刊行しました。この報告で注目されるのは、向山遺跡 c 地点の縄文土器とともに多数出土した焼成粘土塊（しょうせいねんどかい＝焼けた粘土のかたまり）で、その用途に興味がもたれました。

また、平成 25 年度に実施した市内遺跡確認調査 16 遺跡 19 地点の本整理を行い、発掘調査報告書を刊行しました。この報告で注目されるのは、まず、平作（ひらさく）遺跡 a 地点の結果です。同遺跡での初めての調査で、縄文時代中期の遺構・遺物が検出されました。縄文時代の集落遺跡として記憶に留めておきたい遺跡です。堰場台（せきばだい）古墳 c 地点では、古墳周溝を検出し、同古墳の規模が直径 27m 前後の円墳と想定される成果を得ました。雷（らい）遺跡 c 地点では、弥生時代の遺構・遺物が検出され、弥生時代集落跡の一面であることが

わかりました。

同じく平成 25 年度に実施した内込遺跡 c 地点本調査の本整理を行い、発掘調査報告書を刊行しました。古墳時代後期を中心とする集落遺跡で、特に土師器の甕の中に坏が 2 点、口を合わせて出土した事例は興味深いものです。

また、白幡前遺跡 e 地点の本調査及び本整理を行い、発掘調査報告書を刊行しました。同遺跡は市内の代表的古代集落遺跡ですが、本地点は新川低地に面する標高 8 m～9 m の低位段丘面で、主体は中・近世でした。15 世紀末～16 世紀初頭の貿易陶磁や 16 世紀末～17 世紀前葉の陶器類や漆器など、戦国時代末期～江戸時代初頭の市域の歴史を解明するうえで欠かせない基礎資料を得ることができました。

さらに、昭和 60 年度に八千代市遺跡調査会が実施した境作（さかいさく）遺跡・殿内（とのうち）遺跡の確認調査・本調査の本整理を行い、報告書を刊行しました。両遺跡とも奈良時代の集落を中心としており、市域の古代史を考えるうえで重要な成果と考えられます。

これらの報告書に掲載した遺物の一部は、八千代市教育委員会庁舎 1 階の文化財班前のガラスケースに展示していますので、機会がありましたら、ぜひご覧ください。また、今年度の出土品展示会でも一部を展示する予定です。

文化財の新規指定

本市 26 件目の指定文化財として、7 月に「上谷（かみや）遺跡をはじめ新川流域出土の祭祀（さいし）関連墨書（ぼくしょ）土器群」12 点を指定しました。上谷遺跡の墨書土器 8 点、北

平成26年度 確認調査一覧

遺跡名(地区)	期間	面積	調査概要	備考
白幡前遺跡e地点 (萱田・萱田町)	5/2~5/14	148/1,629.46㎡	奈良・平安時代土坑3基, 中世土坑38基・溝跡3条, 近世土坑1基・溝跡1条, 中~近世陶磁器・土器	一部保存, 本調査へ
川崎山遺跡t地点(萱田)	5/19~5/26	上層44・下層12 /499.35㎡	遺構無し, 縄文土器, 古墳時代土師器	
向山遺跡i地点(大和田新田)	6/19~7/4	364/5,250㎡	遺構無し, 旧石器	
殿内遺跡d地点(村上)	7/4~7/10	48 /456㎡	古墳時代竪穴建物跡1軒, 奈良・平安時代竪穴 建物跡1軒・土坑2基, 古墳時代土師器, 奈良・平安時代土師器・須恵器	保存
真木野前遺跡a地点(真木野)	7/22~7/23	16/287.13㎡	遺構無し, 奈良・平安時代土師器, 近世銭貨	
北裏畑遺跡f地点(萱田町)	8/11~8/14	21.5 /284.26㎡	遺構無し, 近世陶磁器	
神野遺跡a地点(神野)	8/29~9/5	168/1,613㎡	遺構無し, 縄文土器	
新東原遺跡m地点(勝田)	9/12~9/22	112/1,062㎡	遺構無し, 縄文土器・石器	
上谷津台南遺跡i地点(上高野)	9/29~10/9	224/2,308㎡	遺構無し, 縄文土器	
真木野遺跡b地点(大学町)	11/4~11/14	270 /2,748.54㎡	奈良・平安時代竪穴建物跡2軒・土坑2基, 縄文土器・石器, 奈良・平安時代土師器	
麦丸宮前上遺跡d地点 (大和田新田)	11/17~11/20	32/331.01㎡	遺構無し, 遺物無し	
井戸向遺跡c地点(萱田)	12/2~12/4	32/360㎡	遺構無し, 奈良・平安時代土師器	
高津館跡e地点(高津)	1/13~1/19	28.5 /299.05㎡	中世溝跡1条・土坑3基, 遺物無し	本調査へ
高津新田野馬堀遺跡o地点 (八千代台西)	1/20~1/26	144/1,382㎡	近世溝跡3条, 近世陶磁器	本調査へ
高津梅屋敷遺跡d地点 (大和田新田)	1/28~2/2	52/509㎡	遺構無し, 縄文土器・石器	
大和田新田芝山遺跡f地点 (大和田新田)	2/3~2/9	36/320㎡	遺構無し, 遺物無し	
高津館跡f地点(高津)	2/9~2/13	50/478.91㎡	遺構無し, 遺物無し	
逆水遺跡h地点(米本)	2/13~2/19	25/258.91㎡	遺構無し, 遺物無し	
池の台遺跡h地点(萱田町)	3/3~3/6	16/188㎡	遺構無し, 遺物無し	
北裏畑遺跡g地点(萱田町)	3/9~3/12	16/189.95㎡	遺構無し, 遺物無し	
真木野遺跡c地点(真木野)	3/16~3/23	232 /2,693㎡	縄文時代竪穴建物跡1軒・土坑4基, 古墳時代 竪穴建物跡3軒, 奈良・平安時代土坑1基, 縄文土器, 古墳時代土師器, 奈良・平安時代土師器	
島田込の内遺跡c地点(島田)	3/17~3/20	21/264.96㎡	遺構無し, 近世陶磁器, 奈良・平安時代土師器 ・須恵器	

平成26年度 本調査一覧

遺跡名(地区)	期間	面積	調査概要	備考
白幡前遺跡e地点(萱田)	7/31~9/30	803㎡	中世土坑245基・溝跡16条, 近世土坑1基・溝跡 中世陶器・土器・石製品・銭貨・漆器, 近世陶器・磁器・土器・銭貨	報告書 刊行
高津館跡e地点(高津)	2/16~3/13	299.05㎡	中世溝跡1条, 中・近世土坑26基, 中・近世陶器・砥石, 奈良・平安時代土師器	
高津新田野馬堀遺跡o地点 (八千代台西)	2/23~2/28	116㎡	近世溝跡3条, 近世陶磁器	

平成26年度 刊行報告書一覧

書名	主な内容	刊行年月日
千葉県八千代市公共事業関連発掘調査 報告書Ⅶ 平成26年度	遺跡名は本文参照。縄文時代土坑2基, 中・近世土坑1基, 縄文土器(前・中期); 焼成粘土塊, 石鏃, 中・近世陶磁器など	平成27年 1月30日
千葉県八千代市市内遺跡発掘調査報告書 平成26年度	平成25年度に実施した市内遺跡確認調査16遺跡19地点 上谷津台南遺跡h地点, 平作遺跡a地点, 平沢遺跡d地点, 川崎山遺跡s地点, 高津館跡d地点, 勝田大作遺跡d地点など	平成27年 3月25日
千葉県八千代市内込遺跡c地点 一宅地造成に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書一	古墳時代 竪穴建物跡4軒, 土坑8基, 土師器, 須恵器, 鉄製品, 石製品 奈良・平安時代 土坑2基, 土師器, 須恵器	平成27年 3月31日
千葉県八千代市白幡前遺跡e地点 一福祉施設建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書一	中・近世 掘立柱建物跡1棟, 土坑214基, 台地整形区画1基, 溝跡12条, ピット列2基, 粘土貼りつけ遺構1基 陶磁器類, 土器, 石製品, 金属器, 漆製品, 木製品, 須恵器, 土師器	平成27年 3月31日
千葉県八千代市境作遺跡 殿内遺跡 一大型店舗建設工事区域埋蔵文化財発掘 調査報告書一	境作遺跡: 古墳時代竪穴建物跡1軒, 土師器, 須恵器 奈良時代竪穴建物跡8軒, 土師器, 須恵器, 鉄器, 砥石 縄文土器, 平安時代土師器, 須恵器, 灰釉陶器, 鉄器 殿内遺跡: 奈良時代竪穴建物跡1軒, 土師器, 須恵器	平成27年 3月31日

直口無文系青磁碗 線描蓮弁文青磁碗

瀬戸産緑釉小皿

瀬戸美濃産天目茶碗

美濃産志野丸皿

土器搗鉢

かわらけ

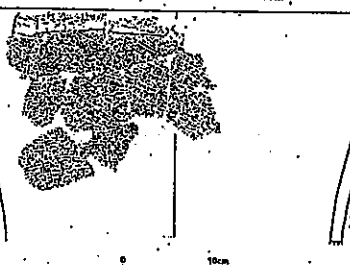
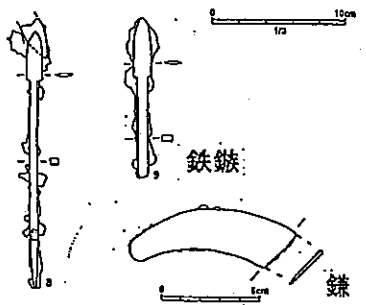
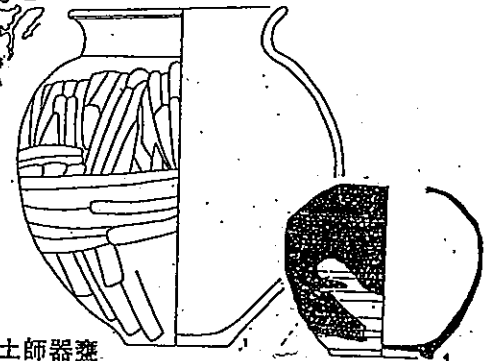
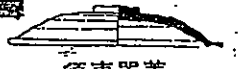
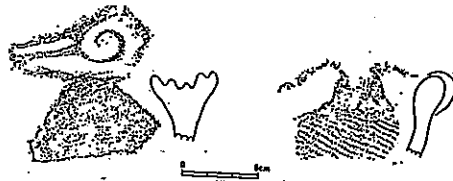
かわらけ灯明皿

板碑

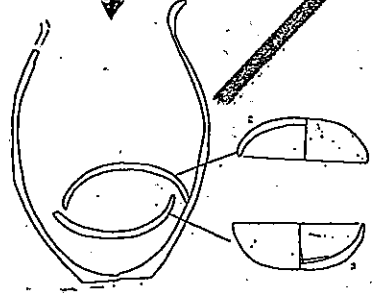
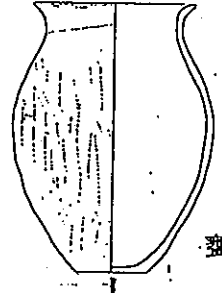
源法寺焼内耳土鍋

瀬戸美濃産片口
白幡前遺跡の地点の中・近世遺物

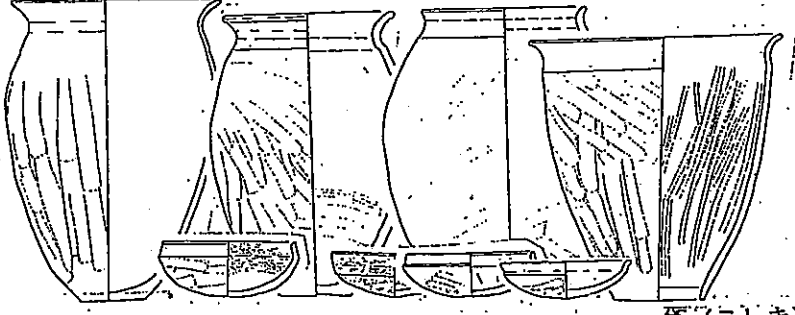
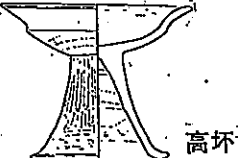
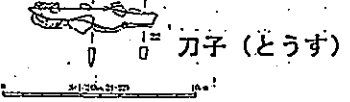
平成 26 年度に刊行した 発掘調査報告書から



平作遺跡 a 地点の縄文土器



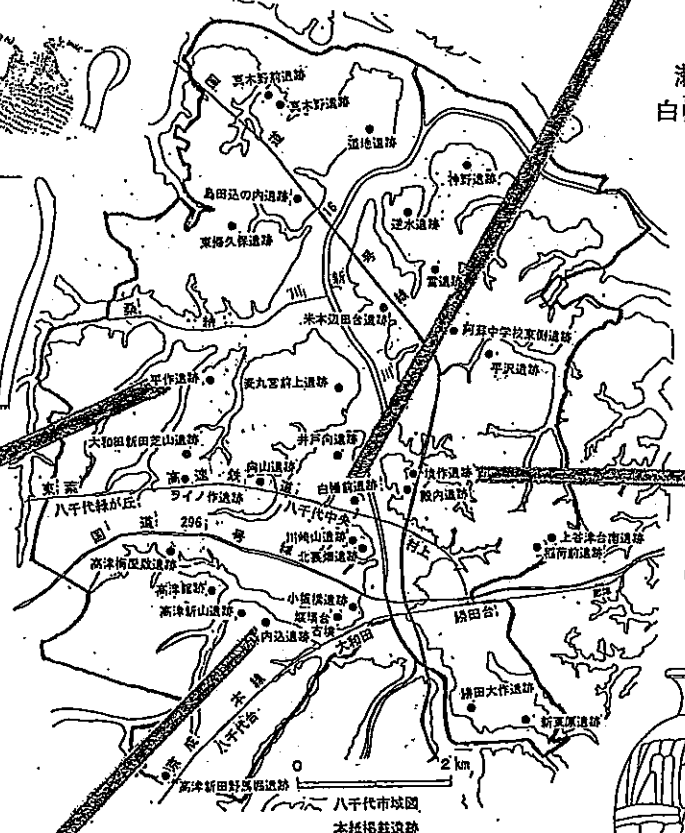
口を合わせた杯 2 点が内包されていた



内込遺跡 c 地点の古墳時代遺物

甕 (こしき)

境作遺跡 a 地点の奈良時代遺物



10m

10m

5m

海道(ほっかいどう)遺跡の2点,白幡前遺跡・権現後(ごんげんうしろ)遺跡の各1点です。指定に伴い,指定記念展示会「八千代の古代史と墨書土器」を,9月20日~30日に市立郷土博物館で実施し,期間中741名の来館者がありました。併せて,9月23日に同館にて指定記念講演会として,前国立歴史民俗博物館館長の平川南氏に「古代人の信仰と墨書土器」という演題でご講演いただきました。平川氏は,八千代市内出土の墨書土器を歴史資料として高く評価されていました。来場者は56名でした。同日午後には,展示説明会を行い,19名の参加をいただきました。

普及・啓発事業

通算第11回~14回となる出土品展示会を,平成26年7月17日~19日に緑が丘公民館で,10月4日~5日に勝田台ステーションギャラリーで,11月28日~30日に八千代台公民館で,27年1月29日~31日に八千代台東南公共センターでそれぞれ開催しました。

「発掘された古代文字」と題し,指定された墨書土器をはじめ刻書(こくしよ)土器・朱書(しゅしよ)土器など出土文字資料を中心に48点と「さわれる土器片」を展示しました。合計11日間で延べ460名の来場者がありました。

この他,中学生の職場体験を受け入れました。6月12日・13日に高津中学校2年生4名に,遺物区分収納作業,及び指定文化財の現状調査の仕事を経験していただきました。

「埋やちよ」は第30号を発行しました。

—編集後記—

今年度は,「列島展」への上谷遺跡の出展;下総三山の七年祭り,北西部地区文化財発表会という大きな行事が予定されています。多忙な一年になりそうですが,班員一同職務に邁進したいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

平成27年度の普及・啓発事業について

今年度,特筆されるのは,上谷遺跡が文化庁主催の「発掘された日本列島2015」(列島展)に出展されることです。「列島展」とは,日本全国で年間8000件に及ぶと言われる発掘調査の中から厳選した調査成果を,一年かけて全国で巡回展示するものです。墨書土器群指定を機に応募したところ,県から推薦され東国を代表する古代集落と評価され採用されました。上谷遺跡の市指定文化財である墨書土器8点と,その他の墨書土器,人面刻書土器,三彩陶器,転用硯(てんようけん),温石(おんじゃく),鉄製鋤先(すきさき)など9点,合計17点が展示されます。全国的に注目される遺跡の一つに選ばれたということは,本市にとって画期的なことです。展示は,来る5月30日(土)~7月20日(月・祝)に東京都江戸東京博物館から始まりますので,皆さまぜひご覧ください。

この「列島展」に先駆けて,出展する17点の展示を八千代市役所1階のロビーで本年4月20日~24日に行いました。多くの来庁者の方々にご覧いただくことができました。

今年度の出土品展示会は,上谷遺跡及び上谷に隣接する栗谷(くりや)遺跡の遺物を中心にしたいと思っています。8月21日(金)~23日(日)に緑が丘公民館で,11月7日(土)~9日(月)に勝田台ステーションギャラリーで,12月に八千代台東南公共センターで開催する予定です。また,千葉県北西部地区文化財発表会は28年1月30日(土)に習志野市大久保公民館で開催予定です。期間が近づきましたら改めて広報しますので,皆様,ぜひご参加ください。

埋(まい)やちよ No.31

—千葉県八千代市埋蔵文化財通信—

平成27年5月28日

編集・発行 八千代市教育委員会

教育総務課 文化財班

八千代市大和田138-2

☎276-0045 ㊚047(481)0304

